

# 平成24年度 事業報告書

## 1 組織強化活動

### (1) 全戸会員制の推進

社会福祉事業の組織的活動の促進と地域福祉の増進を図るため、社協の全戸会員制を推進し、各自治会の協力のもとに7,747戸で97%の加入実績となった。

### (2) 高額寄付者に対する感謝状の贈呈

社会福祉事業に10万円以上の金品を寄付された19件の寄付者に対し、感謝状を贈呈した。

### (3) 研修会等への参加

全道社協会長事務局長研究協議会	(24年6月12日～13日 札幌市2名)
上川地区社協会長事務局長会議	(24年6月25日 旭川市2名)
	(24年11月6日 旭川市2名)
	(25年1月30日 旭川市2名)
道北地区市社協職員自主研修会	(24年6月29日～30日 稚内市5名)
全道社協職員研究協議会	(24年7月30日～31日 札幌市1名)
上川管内社協職員連絡協議会研修会	(24年10月11日～12日 幌加内町4名)
役員研修会	(24年10月13日 士別市3名)
法人役員研修会	(24年11月27日 札幌市2名)
全道市町村社協事務局長連絡協議会	(24年11月28日 札幌市1名)
全道市町村自治会事務担当者会議	(25年2月18日 札幌市1名)
地域生活定着支援事業推進会議	(25年2月19日 旭川市2名)
先進地視察研修	(25年2月27日 置戸町7名)

## 2 広報活動

### (1) 社協だよりの発行

全戸配布する「社協だより」を、6回(第162～第167号)発行し、各種福祉サービス、ボランティア活動及び住民の福祉活動など幅広い情報の提供に努めた。

### (2) 情報提供

各種ボランティアスクール開催案内等、ホームページによる福祉サービスの情報提供、また市内報道機関・行政の協力による広報活動を行った。

### 3 地域福祉活動

#### (1) 支部活動の推進

市内の地区自治会連合会を単位とした5支部（中央・上士別・多寄・温根別・朝日）に対し、各地区独自の地域福祉活動の推進を図るため活動費を助成した。

#### (2) 小地域ネットワーク活動推進事業

在宅福祉活動がより一層地域に定着していくことを願って平成2年度から単位自治会を対象とした「在宅福祉サービス実践地区指定事業」を行ってきたが、平成14年度より「小地域ネットワーク活動推進事業」として改め、各自治会とタイアップした地域福祉の推進をめざし、本年度は20自治会に対し、1自治会3万円の助成を行った。

### 4 ボランティア活動

#### (1) 研修会への参加

- ・ ボランティア愛ランド北海道2012 in くしろ

日 程 9月15日（土）～16日（日）

会 場 釧路市

参加者 12名

- ・ 平成24年度災害ボランティアシンポジウム

日 程 1月26日（土）

会 場 仙台市

参加者 1名

#### (2) 平成24年度第1回地域力アップ研修会

（平成24年度市民ボランティアスクール）

日 程 6月20日（水）18：30～20：00

会 場 市民文化センター 研修室

内 容 地域のネットワーク活動、住民相互の支援活動を更に進め、地域力、地域の福祉力を高めていくことを目的として開催した。

講演 「地域の福祉課題と地域ボランティアの育成」

演習 地域の福祉課題の掘り出し

地域福祉資源の認識

講師 篠原辰二氏 NPO法人ファシリテーターフェローズ理事

参加者 自治会役員、ボランティア 57名

## 平成24年度第2回地域力アップ研修会

(平成24年度しべつヤングボランティアスクール)

日 程 11月9日(金) 18:30~20:00

会 場 市民文化センター 研修室

内 容 第1回目の内容を更にスキルアップして開催した

講演 「地域の福祉課題と地域ボランティアの育成」

演習 地域福祉資源の認識

地域ボランティアの発掘、育成

講師 篠原辰二氏 NPO法人ファシリテーターフェローズ理事

参加者 自治会役員、ボランティア 36名

### (3)第22回士別市小学生ボランティアスクール

日 程 6月30日(土) 10:00~11:30

会 場 士別市民文化センター 研修室

内 容 「ぼくらにできるボランティア」

ボランティア活動内容のお話しと体験

・収集活動、手話、絵本読み聞かせ

講師 ボランティアセンター運営委員

参加者 11名

### (4)石巻市「ほっとスペース」サマーキャンプ受け入れ

日 程 8月3日(金)~6日(月)

宿 舎 トヨタ自動車士別車両実験部厚生施設シラカバハウス

参加者 10名(高校生8名、スタッフ2名)

対 応 ボランティアセンター運営委員 15名

土曜ボランティア学習塾「さぼてん」 5名

### (5)第34回住民福祉活動を進めるつどい

日 程 9月25日(火) 18:30~20:00

会 場 士別市民文化センター 小ホール

内 容 世界50ヶ国以上を訪問され、途上国で医療システムを立ち上げてこられた国際協力の専門家であり、エジプト、オーストラリアの砂漠体験を通して「子どもの自立支援」活動など、幅広い分野において活動され、「国際支援のカリスマ」とも呼ばれている羽賀友信さんから、誰もが安心して暮らせるまちづくりのため、住民として何をすべきか研修した。

講演 「未来のために - 出会い・交流・協働 -」

講師 羽賀友信氏 長岡市国際交流センター長

参加者 126名

#### (6) ボランティア交流会

日 程 10月13日(土) 14:30~20:00  
会 場 士別市生涯学習情報センターいぶき  
内 容 23年度に昨年開催した「ボランティア愛ランド北海道2011かみかわ北部inしべつ」では、士別市、名寄市、剣淵町、和寒町のボランティアの力を合わせ成功裡に終了しており、これを機に更にボランティアのネットワーク強化を図るために実施した。  
講演 「ボランティアの可能性」  
講師 鈴木盈宏氏  
愛知県社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員長  
日本ボランティアコーディネーター協会理事  
シンポジウム 「ボランティア活動の今後のあり方について」  
シンポジスト  
鈴木盈宏氏  
西川勝夫氏 北海道社会福祉協議会ボランティア部会長  
交流会  
参加者 60名  
(士別市38名、名寄市8名、剣淵町4名、和寒町8名、講師2名)

#### (7) 平成24年度士別市福祉教育懇談会

日 程 11月2日(金) 18:30~20:00  
会 場 サポートセンターしべつ  
内 容 子どもたちが、人と人との支え合いの中で、共に社会で生きる力を身につけるための「福祉の学び」のあり方について研修した。  
講演 「福祉共育とは? - 学校と社協とはどうつながるか -」  
講師 藤田泰昭氏 北海道教育委員会後志教育局主事  
参加者 市内教員、ボランティアセンター運営委員 21名

#### (8) 第18回士別市中学生・高校生ワークキャンプ

日 程 11月10日(土) ~ 11日(日)  
会 場 士別市つくも青少年の家、士別市民文化センター大ホール  
内 容 障がいをもって生活している方々や、ボランティア活動に取り組んでいる方々とのふれあいの中から、生きることの尊さや支えあう心の大切さを学び、ボランティア活動に取り組むきっかけの場となることを目的として開催した。  
テーマ 「つながりと絆」  
講演、ワークショップ  
講師 篠原辰二氏 NPO法人ファシリテーターフェローズ理事  
ボランティアセンター運営委員会  
参加者 市内高校生、ボランティアセンター運営委員 16名

(9)福祉・ボランティア団体助成事業

福祉団体、ボランティア団体の活動を援助するため、18団体に対し助成し活動の助長を図った。

(10)学童生徒のボランティア活動普及事業

本事業は、学童生徒の社会福祉への理解と関心を深め、ボランティア精神を養うことを目的として、市内全校(小学校11校、中学校6校、高等学校2校)に対し、生徒数20人以上の学校は年間5万円、20人未満の学校は年間3万円を助成し活動の助長を図った。

(11)士別市ボランティアセンターの運営

本市のボランティア活動を推進するため、17名の運営委員のもと各種ボランティアスクール、ワークキャンプ、住民福祉活動を進めるつどい等の企画運営や、ボランティアセンターだよりの発行等に取り組んだ。

運営委員会 委員17名 委員会12回(第2月曜日)開催

個人登録ボランティア 73名(平成25年3月31日現在)

ボランティアセンターだよりの発行 3回

社協だより掲示板への掲載 6回

ボランティア指定校担当者会議の開催 2回

自主研修会の実施 10月26日(金)

バリアフリーなおもちゃ、おもちゃ本来の姿について研修した。

土曜ボランティア学習塾の開催(対象...中学生、高校生)

(ボランティア体験学習や情報交換を継続的に実施)

塾登録者 18名

塾開催日 毎月第2土曜日(11回開催)塾生延べ64名参加

開催内容 ふれあい広場(学童生徒コーナー)企画運営

旭山動物園障がい者介助ボランティア活動

児童館児童、障がい者との交流 等

社会貢献活動への協力

「ペットボトルのキャップを集めて世界の子どもたちにワクチンを届けよう」、「空き缶のリングプルを集めて車椅子を贈ろう」という運動が市民に定着しつつあり、特にエコキャップ(ペットボトルのキャップ)に関しては、本年度は619の団体、個人から寄せられ、平成20年4月からの送付累計は3,653,062個(25年3月29日現在)で、ワクチン4,502人分になった。

(12)収集ボランティア活動

市民から寄せられた使用済み切手、プリペイトカードを収集ボランティアサークルひまわりが整理し「誕生日ありがとう運動本部」に送っており、本年度の実績は次のとおりである。

使用済み切手 202件 144,161枚  
使用済みカード 72件 4,171枚

### (13) 声の図書活動

#### 声の図書貸出事業

本事業は、小説、市の広報誌等を、士別声の図書会の朗読ボランティアが録音し、貸し出すものであり、出来上がった録音テープは現在 1,753編 11,645本となり、本年度の貸し出しは延 61件 185編 1,509本であった。

・利用者 視力障がい者他 4名

## 5 互助共励活動

### (1) 無縁仏供養

日程 8月20日

会場 しべつ霊園「無縁の碑」

無縁者の霊を慰めるため、昭和60年士別市が建立した「無縁の碑」において、市関係者の参列のもと48柱の供養をした。

### (2) 歳末たすけあい募金運動(24年12月1日~30日)

本募金運動は、各報道機関をはじめ多くの市民の協力のもと、士別市共同募金委員会と共催で実施しており、本年度は48件1,455,379円の浄財が寄せられたところであるが、特に、催し物による募金活動にご貢献いただいた。

なお、毎年恒例となっている、ボランティアサークルむぎの会主催による「歳末チャリティーふれあい演芸会」益金417,230円と、しべつふれあいの会主催「歳末チャリティーカラオケ選手権大会」益金404,030円の募金合計は、821,260円となり実績の約56%を占めている。

### (3) 「ふれあい募金箱」運動

昭和58年より、歳末たすけあい募金運動の通年化と市民の善意の助長を図るため、しべつふれあいの会の協力のもと「ふれあい募金箱」を設置しており、その総額が69,627円となり全額趣旨に添って「歳末たすけあい募金」として寄贈した。

募金箱設置事業所 市内40ヶ所

### (4) 歳末たすけあい見舞事業(24年12月)

民生委員・市保健福祉部の協力により対象者を調査し、歳末見舞金品を交付した。

対象者 220名 見舞金品総額 1,303,000円

(5)ふれあい広場'12 IN しべつ P A R T 29

日 程	7月7日(土)～8日(日)
会 場	士別市総合体育館
テ ー マ	「で愛 ふれ愛 かたり愛」～あふれる笑顔 みんなが主役～
実施主体	福祉・ボランティア団体・各学校並びに市民有志で構成された、177名の「ふれあい広場'12INしべつP A R T 29実行委員会」が、企画から当日の運営にあたった。
内 容	<ul style="list-style-type: none"><li>・語らいコーナー...語らいサロン、血圧測定、健康相談(市立病院医師派遣)</li><li>・体験の広場...点字教室、盲導犬体験・講話、収集ボランティア活動体験、障がい者スポーツ交流(車イスラグビー等)等</li><li>・ステージ企画...ふれあいコンサート 等</li><li>・ふれあいの店...障がい者関係作品展示即売、バザー</li><li>・ボランティア障がい者福祉展 ...ボランティアコーナー、特別支援教育作品展</li><li>・学童生徒ボランティア活動展 ...各学校のボランティア活動時のパネル写真展・学童生徒企画コーナー(駄菓子屋、バルーンアート等)</li><li>・福祉標語 応募点数 223名 223点 最優秀作品 「あしたをかえる つないだ手と手に おもいやり」</li><li>・ふれあいの夕べ(17:30～19:00) 参加者 564名(つまみセット交換数)</li></ul>
会 議	実行委員会2回含め 26回開催
入 場 者	2日間 約 3,000名
協 力 者	2日間 410名(実行委員を除く)
ガイドヘルプ活動	ガイドヘルプ委員会を設け、自力で移動の困難な方に対してのガイドヘルプ活動を行い、2日間で25名が参加してくれた。

(6)生活福祉資金貸付事務

低所得者や高齢者、障がい者のいる世帯等の生活自立を支援するため北海道社会福祉協議会が主体となり、市町村社協が受付窓口となっている事業で、本年度は生活支援費、教育支援資金についての相談が12件あった。

(7)特別生活資金(冬期生活資金)貸付事務(11月1日～3月31日)

福祉年金等を受給する高齢者、障がい者及び特定患者世帯に対し、燃料費など冬期の生活を確保する生活資金を貸付する事業で、北海道社会福祉協議会が主体となり市町村社協が受付窓口となっており、本年度は1件の相談があり決定している。

(8) 土別市心配ごと相談所運営

近年、市民の悩みごとや心配ごと等、相談内容の多様化が目立っており、適切な助言社会資源の紹介活用等を行った。

相談所

常設相談所... 社協事務局内に置き、相談員が随時相談を受けている。

地域相談所... 58名の相談員（民生委員）宅とし随時相談を受けている。

相談件数 年間172件

処理状況（重複対応有り）

解決...54件・再来...28・民生委員...32件・他機関...46件・その他...12件

(9) 老人安全杖贈呈事業

おおむね70歳以上の高齢者や障がい者に対し、申し出により安全杖を無料で贈呈しており、本年度は198本の利用があった。

6 朝日地域福祉圏事業

(1) ふれあい昼食会

町内の70歳以上の高齢者を対象に昼食会を月1回開催し、ボランティアを含め延べ643名の参加があった。

(2) 第43回福祉運動会

日程 10月18日（火）

会場 朝日町農業者トレーニングセンター

参加者 128名（65歳以上の住民89名、ボランティア39名）

(3) ボランティア支援事業

広報紙「ぼらんていあネットワーク」を年6回発行した。

(4) 助成事業

心身障がい児の療育施設通所に対し交通費の一部を助成した。

- ・ 土別市こども通園センターのぞみ園通園者6世帯9人（119回）
- ・ 旭川市療育施設通園者1世帯1人（10回）
- ・ 名寄市立総合病院リハビリ通院者1世帯1人（13回）

7 土別市総合福祉センター指定管理運営事業 [別記1]

8 土別市多世代スポーツ交流館指定管理運営事業 [別記2]

9 サポートセンターしべつ受託事業 [別記3]

- |    |                         |                         |          |
|----|-------------------------|-------------------------|----------|
| 10 | 士別市施設入浴サービス受託事業         |                         | [ 別記 4 ] |
| 11 | 士別市移送サービス受託事業           |                         | [ 別記 5 ] |
| 12 | 士別市在宅介護支援センター運営受託事業     |                         | [ 別記 6 ] |
| 13 | 福祉パトロール受託事業             |                         | [ 別記 7 ] |
| 14 | 士別市いきいきデイサービス受託事業       |                         | [ 別記 8 ] |
| 15 | 介護保険制度に係わる事業者指定         |                         |          |
|    | (1)居宅支援事業所(ケアプラン作成機関)   |                         |          |
|    | 士別市社協居宅介護支援事業所          | 平成12年4月1日(指定)           | [ 別記 9 ] |
|    | (2)居宅サービス事業所(サービス提供機関)  |                         |          |
|    | 士別市社協ヘルパーステーション         | 平成12年4月1日(指定)           | [ 別記10 ] |
|    | 士別市社協訪問入浴事業所            | 平成12年4月1日(指定)           | [ 別記11 ] |
| 16 | 障害者自立支援法に係わる事業者指定       |                         |          |
|    | (1)居宅支援事業所(身体・知的・児童・精神) |                         |          |
|    | 士別市社協ヘルパーステーション         | 平成18年4月1日(指定)           | [ 別記12 ] |
| 17 | 介護保険関係研修会への参加           |                         |          |
|    | 主任ケアマネフォローアップ研修         | ( 24年6月2日～3日 札幌市1名 )    |          |
|    | 権利擁護事業研修                | ( 24年6月7日 士別市7名 )       |          |
|    | 高齢者虐待防止推進研修会            | ( 24年7月26日 札幌市1名 )      |          |
|    | 介護給付費等適正化事業             | ( 24年9月24日・25日 士別市7名 )  |          |
|    | 事業所内虐待の要因と対策            | ( 24年9月24日 士別市3名 )      |          |
|    | 主任ケアマネフォローアップ研修         | ( 24年10月13日 札幌市1名 )     |          |
|    | 介護支援専門員更新研修             | ( 24年10月22日～24日 旭川市3名 ) |          |
|    | 生活支援員研修                 | ( 24年11月19日・20日 旭川市7名 ) |          |
|    | ケースマネジメント講座             | ( 24年12月5日 士別市2名 )      |          |
|    | 認知症ケア研修会                | ( 24年12月13日～14日 札幌市1名 ) |          |
|    | 士別市介護支援専門員研修会           | ( 25年3月5日 士別市7名 )       |          |

## 18 平成24年度 強化事業

### (1)日常生活自立支援事業の推進

#### ・福祉パトロール事業

本年度より、士別市地域支え合い事業の一つとして、福祉パトロール事業が位置付けされ、自治会、民生委員、地域住民が中心となり、独居老人等の見守り、声かけ活動を実施した。

(39自治会、対象者299世帯、267名の見守り隊が結成)

### (2)ボランティア活動推進事業

#### ・地域力アップ研修会

「地域の福祉課題と地域ボランティアの育成」をテーマに2回(6月、11月)開催し、地域福祉課題の共有と、ボランティアの育成について研修した。

#### ・ボランティア交流会

士別近郊(士別市、名寄市、剣淵町、和寒町)のボランティア実践者による交流研修会を通し、地域のボランティア活動の推進と、ネットワーク強化を図った。

### (3)自治会広報活動支援事業

#### ・回覧板作成

自治会の広報活動を支援すべく、社協事業の内容を印刷した回覧板を作成し、各自治会内の全ての班(766班)に対して配布した。

## 19 その他

社協監事による監査	4回	8月31日・11月27日・2月26日・5月17日
社協正副会長会議	6回	5月17日・8月29日・11月7日・12月14日 2月13日・3月6日
社協理事会	2回	5月23日・3月15日
社協評議員会	2回	5月30日・3月27日
各種会合		25回
出前講座の実施	15回	